

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立豊崎小 学校

児童数

30

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	14.30	14.45	28.76	37.45	35.35	9.90	143.57	21.39	48.19
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	14.50	15.00	40.71	36.83	30.29	10.50	139.17	10.57	47.60
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

結果の概要

今年度は、体力合計点において男女ともに全国、大阪市の平均を下回った。種目別においても、男子ではソフトボール投げにおいてわずかに全国、大阪市平均を上回ったものの、残り全ての種目で全国、大阪市の平均以下となっている。女子では、長座体前屈、反復横跳びでわずかに大阪市平均を上回った。いずれにせよ全国平均との差が依然として大きいのが現状である。男女ともに持久力・筋力が必要とされる運動項目において課題がみられるとともに、広いスペースを使う運動においても全国、大阪市平均との記録の乖離が大きい。逆に省スペースで行える運動については数値が大阪市平均に近い傾向が認められる。「運動やスポーツをすることは好きですか」との質問には大阪市、全国平均が男子7割弱、女子5割強であるのに対して、本校では男子は86%、女子が72%と運動に対する意欲が大変高い。一週間の総運動時間も最も長い7時間以上の分布帯において大阪市、全国平均を1~2%程度上回っている。「運動やスポーツをすることは好きですか」との質問には大阪市、全国平均が男子7割強、女子5割強であるのに対して、本校では男子は77.3%、女子が71.4%と運動に対する意欲は非常に高い。また、一週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は非常に少なく全国、大阪市平均を大きく上回っている。このことから、本校運動場敷地面積の不十分さや学校外近隣の公園などのボール運動制約など、環境面での影響が児童らの運動力にも投影されていることが推察される。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

上記の結果から、校内で測定が難しいもの（運動場の敷地面積の関係で50m走やソフトボール投げを校内で測定できない）については、児童らの測定結果も低い傾向にある。そもそも50m走を測定する敷地面積が校内にないことなど、環境面で普段から活動内容に制約があることが、児童らの苦手とする種目との間に関係性があるのではないか、と推測される。

運動やスポーツを行う環境面では決して良いとは言えないが、児童らの運動やスポーツに対する意欲が高いことや、校内、校外を問わず運動やスポーツに親しんでいることについては、学校としても今後も後押しをしていきたい。特に、メダリストやプロのスポーツ選手との交流や指導を受ける機会など学び動く意欲を喚起する機会を大事にしていきたい。

技能や運動力の結果においては、個人差や住環境の影響など変更することが難しい条件に左右されがちであるが、運動に対する意欲を高める活動については、大阪市の「夢授業」をはじめ、今後も継続して取り組んでいきたい。また、運動することを好む本校児童の傾向は、運動習慣に対しての影響が運動力の数値以上に大きいと考えている。これからの中寿社会を生きていく児童らの健康の基盤となる「運動に対する意欲」を今後も重視していきたい。